

広報部情報

2020年9月8日
 J R九州労組 広報部
 発行責任者 中原博徳
 編集責任者 吉田春菜

J R 連合 NEWS をチェック!

J R 連合は「J R 連合 NEWS」を発行し、J R 連合のホームページに掲載しています。J R 連合がどういう組織でどういう活動を展開しているか等、多くの方に理解していただけるような内容となっています。随時更新されていますので、ぜひチェックをお願いします。

	J R 連合 NEWS	JRに属するすべての仲間のJR連合への総結集を!!	2020年度 No. 17
2020年9月8日		日本鉄道労働組合連合会	
JR北海道労働組合第18回定期大会			
新体制を確立! かつてない試練を乗り越えていく!			
<p>J R 北労組は、9月5日、札幌市内において、第18回定期大会を開催した。スローガンに「次代を展望した労働運動を展開し、安全最優先の確立と政策課題、組織課題を解決し、労働者の生活向上、J R 産業の維持発展を実現しよう」を掲げ、道内各地から約70人が参集した。本大会は7月に開催予定だったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑みて延期したことから、延期の承認を確認した上で出席者を最小限に抑えるなど、感染予防対策を入念に行いながら開催する運びとなった。また、開会前には、昨年の大会以降に新規加入した仲間13人が紹介され、満場の拍手で歓迎し、さらなる組織拡大にむけ意志統一が図られた。</p> <p>冒頭、挨拶に立った見弘美中央執行委員長(J R 連合副会長)は、新型コロナウイルス感染症について「収束の兆しが見えない状況にあり、かつて経験したことのない試練」と述べ、四半期決算の状況を説明し、経営状況が厳しい中で「この難局を打開するためには労使が結束して、知恵を絞り、あらゆる取り組みを双方の努力で進めていくことが求められる」と訴えた。その後、J R 北海道の経営自立にむけた取り組み、「J R 連合ビジョン」に基づく組織活動に対する所感を示したうえで、大会への積極的な参画を要請した。</p> <p>大会には、J R 連合から萩山市長、中村鉄平交通政策部長が出席し、激励と連帯の挨拶を行った。議事においては、執行部から提起された今年度の運動方針に対して8人の代議員から方針を補強する発言があり、執行部からの答弁を経て、副本寛副書記長からの総括答弁を行ったうえで、すべての議案が満場一致で承認された。</p> <p>役員改選では、見中央執行委員長を再任し、新たに越後真一中央執行副委員長、人見圭一書記長を選出するなど、新執行部体制が確立された。大会宣言および「J R 北海道の経営自立に向けた決議」を採択した後、見委員長による団結ガンバローでコロナ禍を乗り越え、経営自立を実現していく決意を固め合った。</p> <p><添付資料>新役員名簿、大会宣言、「J R 北海道の経営自立に向けた決議」</p>			

最新号を
 ここからチェック!



新入社員の
 みなさんへ

J R 連合は私たちJR九州労組が所属する産業別労働組合です。

1987年4月1日に「国鉄」が分割・民営化され「J R」がスタートして33年が経過しました。J R 連合は、自由にして民主的な労働組合を標榜し、J R 産業で働く労働者が将来にわたり明るい展望を持てるよう、J R 産業の発展につながる様々な取り組みを展開してきました。現在ではグループ93単組を含めた100単組が結集し、組織数86,000人を擁する名実ともにJ R を代表する産業別労働組合に成長しています。しかし、J R 産業にはJ R 連合に結集していない多くの仲間が、J R 各社やグループ会社、関係会社に存在しているのも事実です。

J R 産業が社会の変化に対応して持続的な発展を築き、組合員・家族の幸せを実現するために、J R 連合の組織と運動を磨いて足元を固め、組合員・会社・社会から信頼される運動を実践し、J R 産業に働くすべての仲間の総結集をめざしていきます。